

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 岡山県岡山市立西小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒700-0964
岡山県岡山市北区中仙道一丁目18番20号

E-mail : __nishis@city-okayama.ed.jp__

Website : http://www.city-okayama.ed.jp/~nishis/

児童生徒数：男子 673 名 女子 611 名 合計 1283 名
 児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

1. 本校のESDの特徴

本校では、「共に支え合い、心豊かにたくましく生きる児童を育成する」という学校目標の達成に向けて、夢や目標に向かって努力する子、共に認め合い支え合いながら自他を大切にできる子、自分で判断して行動する子の育成を目指している。それらの学ぶ力や生きる力を育てる場として総合的な学習の時間を位置づけ、環境教育や地域文化、福祉などの領域に取り組んでいる。これまでの活動を整理し、成果を生かし、ESDとして「環境」「地域・文化」「人との関わり」という3つの領域にまとめ、活動を発展させていきたいと考えている。

2. ユネスコスクールとしての活動・全体計画

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	(月)
1年	秋で遊ぼう (12) 昔遊びの会をしよう (12)												
2年	生き物なかよし大作戦 (7) なかよしフェスタ (15)												
3年	やご救出大作戦 (17) 昔たんけん (18)												
4年	クリーン大作戦 (13) ハロウィン (11) めざそうバリアフリー (30)												
5年	田んぼの学校 2014 (40) → もうすぐ6年生だね (10)												
6年	伝えよう日本文化 (15) → 1年生とコンピュータで遊ぼう (5)												

3. 特徴的な活動事例の紹介 「田んぼの学校」(5年生206名)

西学区は、現在、住宅地であるが、昔は田んぼが大変多く、農業が盛んであったと聞いている。現在も米作りをしている人がおられ、田んぼも残っている。そのため、用水路や樋門がいたる所に存在している。そこで、どろんこ体験や田植え体験、案山子作り、稲刈り体験、ライスパーティーなどの体験活動を通して、米作りをしている地域の方の苦労や工夫を考え、地域の方への感謝の気持ちをもち、それを伝えることができるようにした。また、地域の歴史や祭り、用水路の環境、地域の方の働きかけなどを調べることを通して、地域に誇りをもち、地域にあるものや人を大切にしようとする態度を養いたいと考えた。さらに、そのような追求活動を通して、問題解決能力や情報活用能力を育てていきたいと考え次のような工夫をした。

(1) 多様な事象との関連性を学ぶことができるようにする工夫。

- どろんこ体験や田植え体験、案山子作り、稲刈り体験、ライスパーティーなどの食農体験活動だけでなく、地域の歴史や環境、地域の方の働きかけなどを調べる活動を取り入れた。

(2) 未来とのつながりを学ぶことができるようにするための工夫。

- 昔の学区(場所)の様子と現在の学区(場所)の様子を比較する中で、現在の課題を見つけることができるようにした。さらに、見つけた課題を基にあってほしい学区(場所)の未来像を想像し、絵や図で表現する活動を仕組んだ。

- (3) 課題を自らの生活や地域社会、国際社会との関連性においてとらえ、自分ごととするための工夫。
- ・ 社会科「米作り」の学習でとらえたことを基に、自分たちが田植えをした田んぼでは、地域の方がどのような苦労や工夫をして稲を育てているのかを調べ、地域の方の働きに目を向けることができるようにした。
- (4) 参加者の行動変化、変容を引き起こすような価値観への問いかけの工夫。
- ・ 社会科「米作り」の学習で米の作り方や農家の人の苦労や工夫などを勉強したところで、「自分たちの田んぼでも、地域の方が工夫をしてくれているのだろうか。」と尋ねることで、地域の方の働きかけを考え、地域の方への感謝の気持ちをもつことができるようにした。
 - ・ 地域の土地利用の変化や環境の問題に気がついたところで、「地域の方はどう思っているのか。」「地域の人は何も取り組んでいないのか。」と問いかけることで、人とのつながりに目を向けることができるようにした。
 - ・ 地域の環境や祭りが人とつながっていることに気づいたところで、「自分たちにもできることはないか。」「それぞれの家がいきにお金を出し合って、用水の掃除を清掃会社をお願いするのではダメなのか。」と尋ねることで、自分たちも地域の一員であることを自覚させるとともに、持続可能な方法で地域に参画しようとする態度をこれからも養っていきたい。



田植え体験



稲刈り体験



ライスパーティー

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）